

ネオトーキョー ミラーカム Pro MRC-PRO1G（電源ケーブル改良版）
ユーザマニュアル



当マニュアルの最新版および GPS アプリはサポート情報ページ（下記 URL 参照）でダウンロード可能です。トラブルシューティング等も随時更新しておりますので、トラブル発生時は必ずご確認ください。

<https://neotokyo.store/pages/mrc-pro1>

■ご注意

- 当製品をご利用の際に起きた事故、交通違反等につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。日本国内の交通法規を遵守して走行してください。
- ご利用および設置は当マニュアルをよく読み、正しく行ってください。不適切な利用法や設置により発生した当製品および車両の故障は当社は一切責任を負いません。

- **当製品は車の常時電源への接続を行います。トラブルを防ぐため、使用時は車のエンジンを切った際にミラーカムのスクリーンが自動消灯したことを必ず確認するようにしてください。**
- **タイムラプス常時監視は車両のバッテリーを使用しています。トラブル予防のため常時監視使用前にバッテリー電圧をよく確認し、使用後は必ずエンジンをかけてバッテリーを充電してください。長期に車を使わない場合はタイムラプス常時監視を使用せず、コンソールの電源ボタンで元から電源を切ってください。**
- **SD カードは 2 週間に 1 度を目安に必ずフォーマットを行ってください。SD カードの定期的なフォーマットはすべてのドラレコ共通で必要なものです。フォーマットを行わないと、データエラーが起き正しく録画が行われない場合があります。**

目次

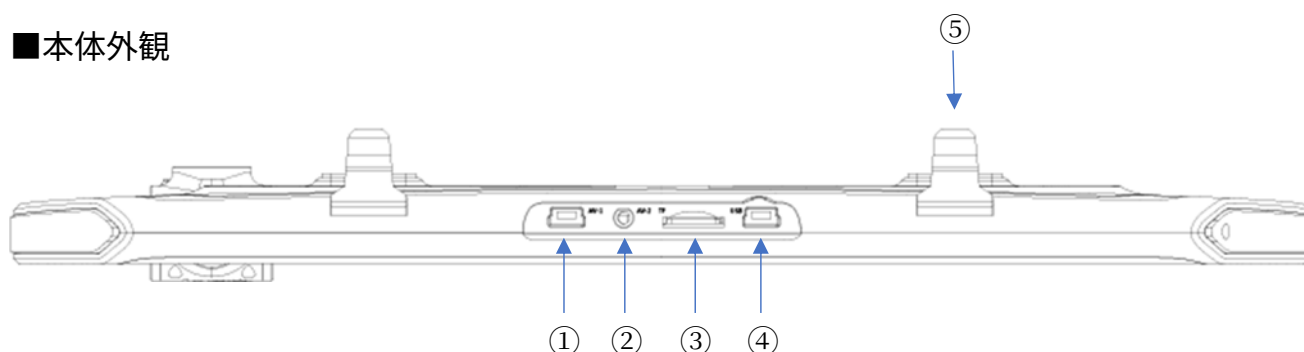
■内容物	2
■本体外観	2
■設置	3
1. microSD カードをセット	3
2. 反射防止シートを貼る	4
3. 本体の取り付け	4

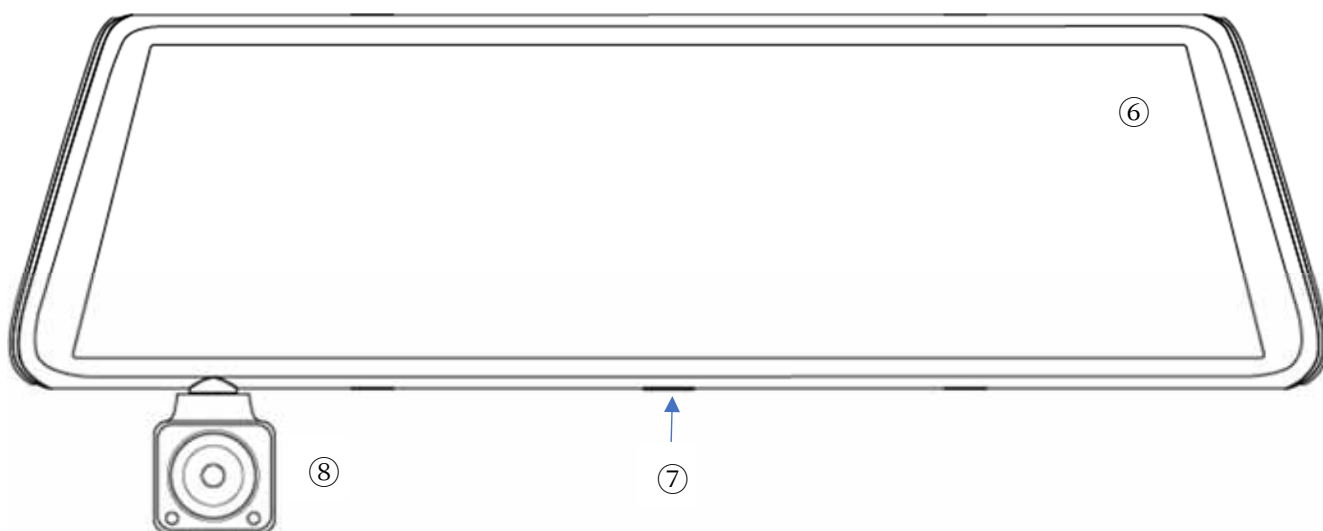
4. フロントカメラの設置.....	5
5. リアカメラと電源ケーブル設置.....	5
6. 電源ケーブル、リアカメラケーブル、フロントカメラケーブルの接続.....	5
■電源 ON/OFF.....	6
■スクリーンの概要.....	7
輝度調整.....	7
上下角度調整.....	7
■設定メニュー.....	8
■その他の機能.....	9
駐車ガイドライン表示.....	9
録画ファイルのロック.....	9
画像/動画の再生.....	10
GPS プレーヤの使用.....	10
タイムラプス常時監視.....	11
■リアカメラと電源ケーブル設置例.....	13
▼ステップ1：両面テープでリアカメラを固定.....	13
▼ステップ2：パネルを外す.....	14
▼ステップ3：配線の引き込み.....	14
▼ステップ4：リアカメラ用延長ケーブル接続.....	15
▼ステップ5：赤線を後退灯に接続.....	15
▼ステップ6：リアカメラ配線の取り回し.....	16
▼ステップ7：電源ケーブルの接続.....	17
■トラブルシューティング.....	19
■諸元.....	22
■初期不良保証期間.....	22
保証書.....	23

■内容物

ミラードライブレコーダー本体、本体取付用ゴムバンド、フロントカメラ、フロントカメラ用ケーブル、リアカメラ、リアカメラ用延長ケーブル、リアカメラ設置用ブラケット（車内用/車外用 計2種）、Pro パワーケーブル（電源ケーブル）、32GBmicroSD カード（本体に挿入済）、日本語マニュアル、反射防止シート、GPS 受信機

■本体外観





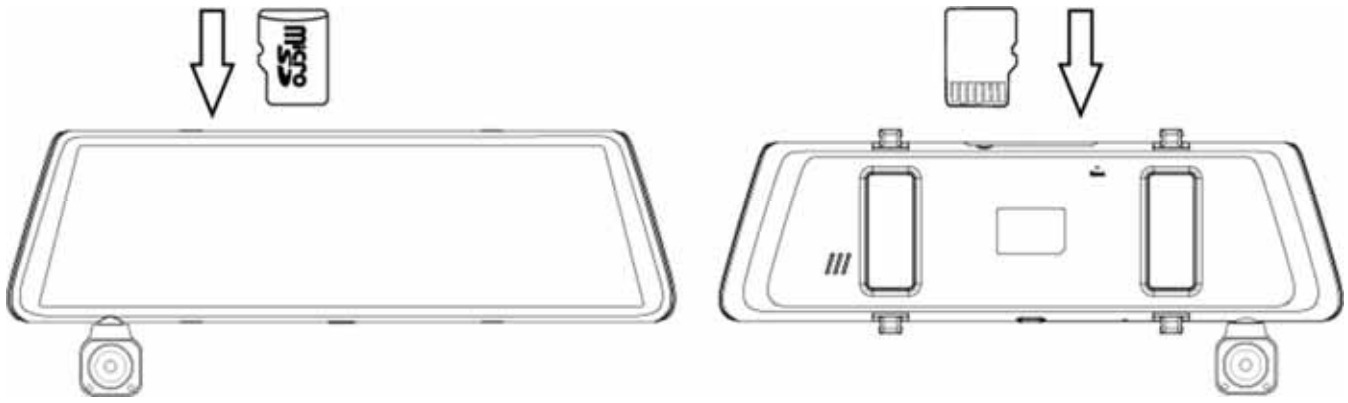
- ①リアカメラ接続ポート （④電源ポートと挿し込み口の形状が同じなので間違えないようにご注意ください。）
- ②フロントカメラ接続ポート
- ③microSD カードスロット
- ④電源ポート
- ⑤固定フック：付属のゴムバンドにより、既存室内ミラーに巻きつけるように固定します。
- ⑥液晶スクリーン：タッチパネル式。とがったもので突いたりしないでください。
- ⑦電源ボタン：ボタン短押しでディスプレイ表示オン/オフ切替。ボタン長押しで電源を切ります。
- ⑧室内カメラ：手で向きを変えられます

■設置

※ご使用前にミラーおよび前中後カメラの保護ビニールをはがしてください。

1. microSD カードをセット

電源オフの状態で、microSD カードを④microSD カードスロットに挿入します。挿入時は向きを間違えないようにご注意ください。 ※付属の microSD カードは出荷時にセット済です



付属品以外の microSD カードを使う場合は、Class10 かつ 32GB 以上のものを使用してください。本機では最大 128GB まで対応しています。

microSD カードの初回ご使用前に、本機でフォーマットを行ってください（※後述の設定メニュー参照。フォーマットは必ず本機で行い、パソコン等では行わないでください）。

データが壊れる恐れがありますので、microSD カードを取り出す際は必ず本機の電源をオフにしてください。またデータエラーを未然に防ぐため、**2 週間に 1 度をめやすに microSD カードをフォーマットしてください**。（ドラレコは高温環境下で常に SD カードに書き込み動作を行っています。これは電子記録媒体としては非常に過酷な状況で、継続して使用しておりますと、いずれ書き込みエラーが出るようになります。定期的なフォーマットはこれを予防するためです）

microSD カードは消耗品です。書き込みが正しく行えなくなったら新品のカードと交換してください。

2. 反射防止シートを貼る

※反射防止シートを貼ると、ミラーカムのスクリーンオフ時はくもりガラス状になり鏡としては使えなくなります。また若干コントラストも低下します。設置後に貼ることもできますので、お好みにあわせてご使用ください。

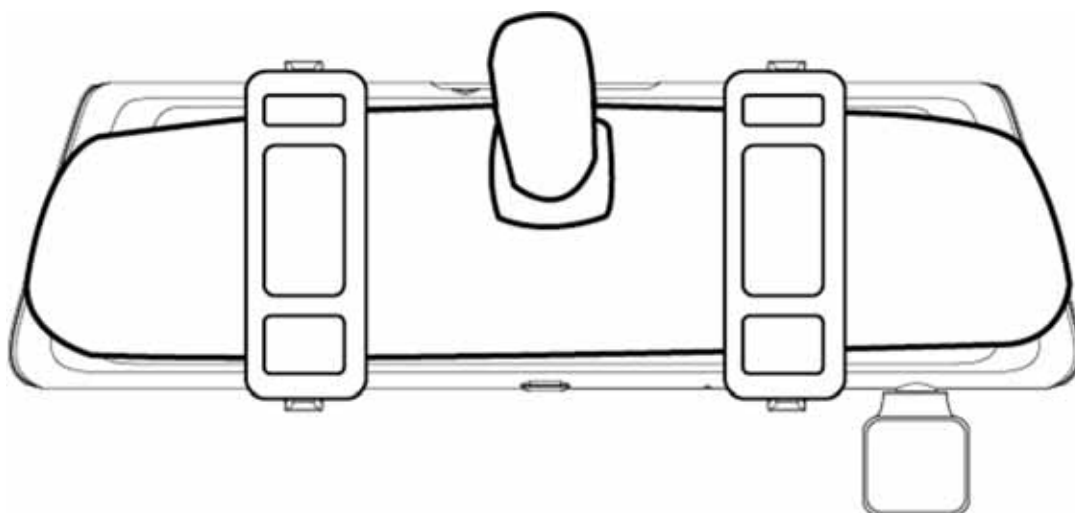
1. ミラーカム鏡面にホコリ等がないことを確認し、ホコリの少ない場所で作業を行ってください。貼る位置を合わせてください。
2. [①BACK]と書かれた赤のタブをはがし、位置を合わせながら少しずつミラーカム本体鏡面に貼り付けていきます。
3. [②FRONT]と書かれた黒のタブをはがせば作業完了です。もし気泡が入った場合は、指で押し出してください。

※一度貼り付けた後の再貼り直しをきれいに行うのは困難ですので、貼り付け前に位置合わせを確実に行ってください。

3. 本体の取り付け

ドライブレコーダー本体のフックに、付属のゴムバンドを引っ掛けてください。それを既存の室内

ミラーに巻きつけるようにして固定します。



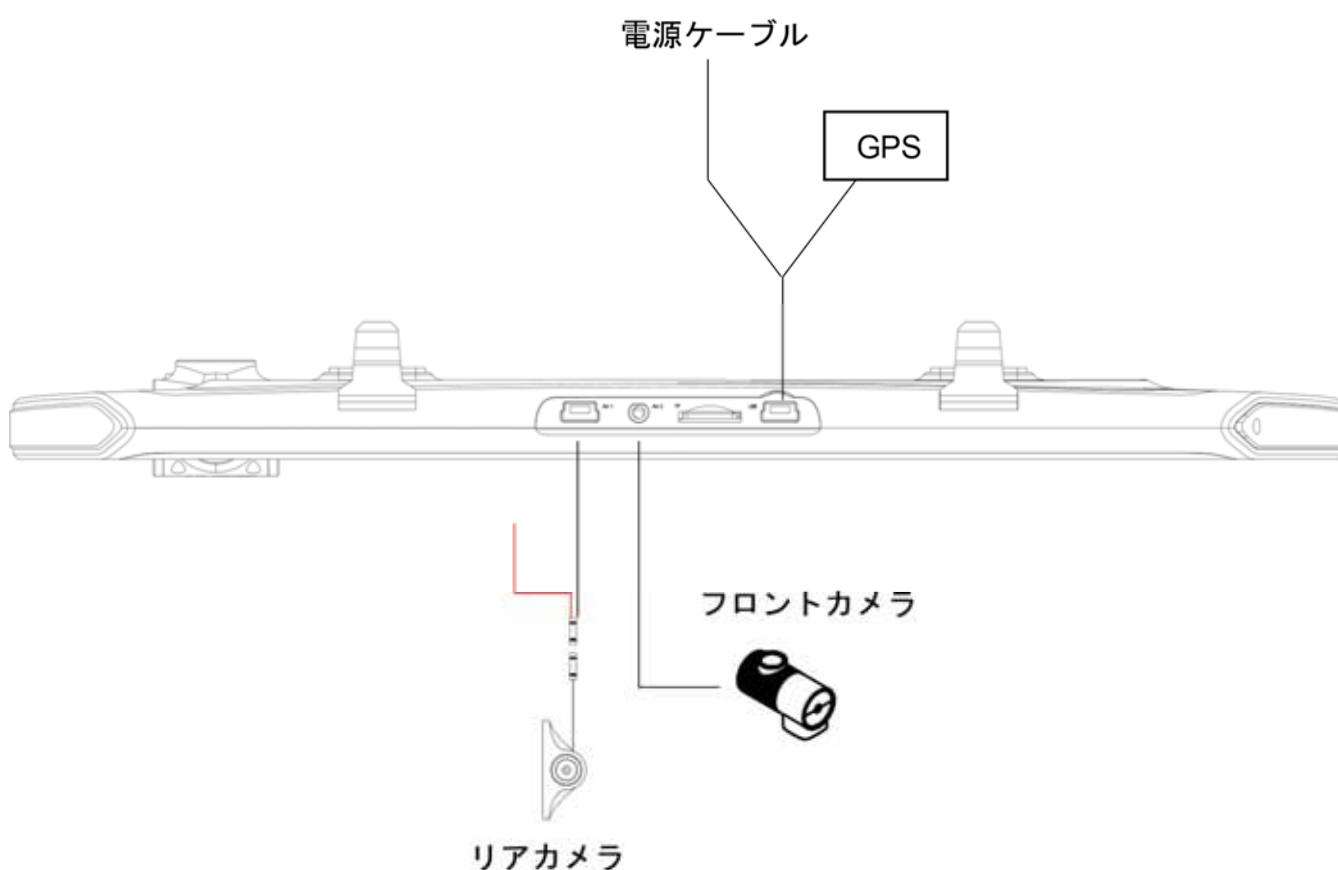
4. フロントカメラの設置

フロントカメラを付属の両面テープでフロントガラスに貼り付けてください。ただし付属両面テープは強力で、いったん貼り付けると簡単にはがせませんので、最初は養生テープ等で仮止めして場所を確定してから付属両面テープを使うことをおすすめします。

5. リアカメラと電源ケーブル設置

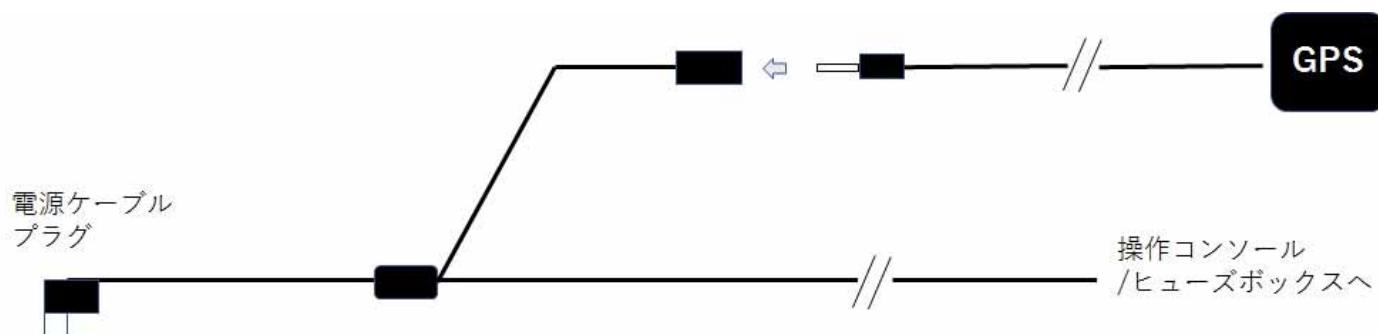
後述の「リアカメラと電源ケーブル設置例」をご確認のうえ設置を行ってください。

6. 電源ケーブル、リアカメラケーブル、フロントカメラケーブルの接続



電源ケーブルとリアカメラケーブル、フロントカメラケーブルを本体に接続してください。(電源ケーブルとリアカメラケーブルはポート形状が同じなため、間違えないようご注意ください)

GPS 受信機は電源ケーブルと合流させるように接続します。

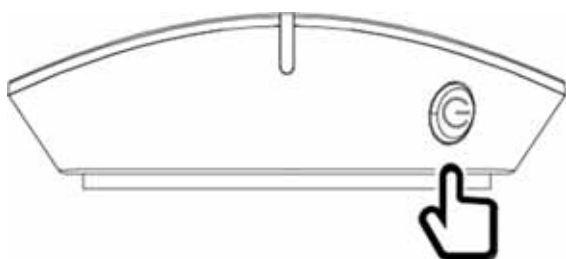


■電源 ON/OFF

当製品は常時電源に接続されていますが、正しく接続されていればエンジン ON で電源が入り、エンジン OFF で自動電源オフ（タイムラプス設定時はタイムラプス常時監視モードに移行した後に自動消灯）します。

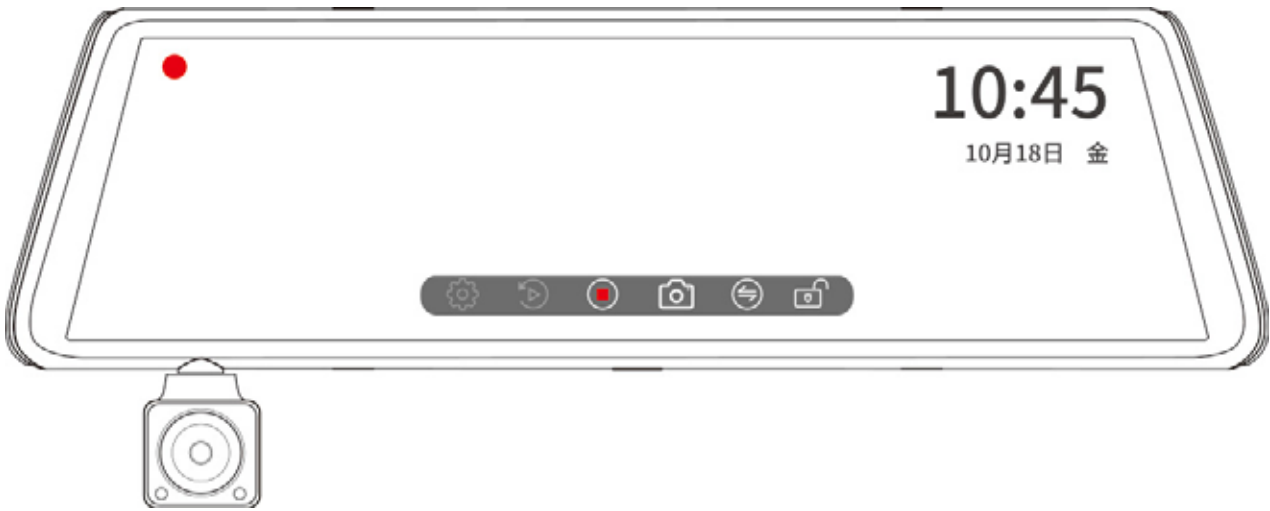
この動作は自動的に行われますが、トラブル防止のために駐車時にはスクリーンが消灯したことを必ず確認するようにしてください。

電源ケーブルのコンソールの電源ボタンを長押しで電源 ON/OFF できます。車を長期間使わない場合はこの電源ボタンで電源を元から切ってください。短押しで H(12.4V)/M(12.0V)/L(11.8V)の電圧保護値を変更できます。設定した電圧保護値を下回ると電源供給が自動的に停止しバッテリーを保護します。



状況は電源ケーブルコンソールの LED インジケータで確認できます。エンジン OFF で電源オフにした場合は LED がゆっくり点滅し、コンソールのボタンで元から電源を切った場合は LED が消灯します。

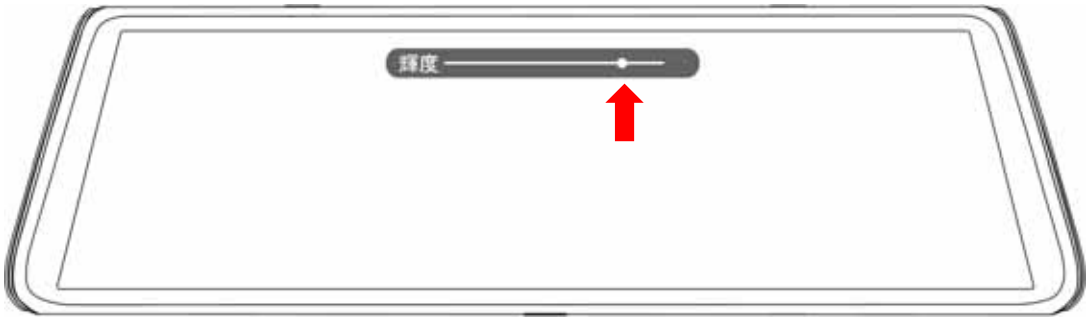
■スクリーンの概要



●	録画中
10:45	時刻、日付表示
⚙	設定メニュー：録画停止中にタッチで設定画面へ
▶	動画／画像を再生
■	録画の ON/OFF
📷	写真撮影
↔	フロント/室内/リアカメラの表示切替
🔒	録画中の映像をロックします。ロックされた映像は上書きされません。
📶 北 0km/h	GPS 信号を受信すると、方向と速度が表示されます。

輝度調整

画面上部を指でタッチすると輝度調整バーが表示され、左右へスライドすると輝度が調整できます。



上下角度調整

スクリーンを上下スライドすると映像の上下表示角度が調整できます。（表示されていない部分も

録画はされています)



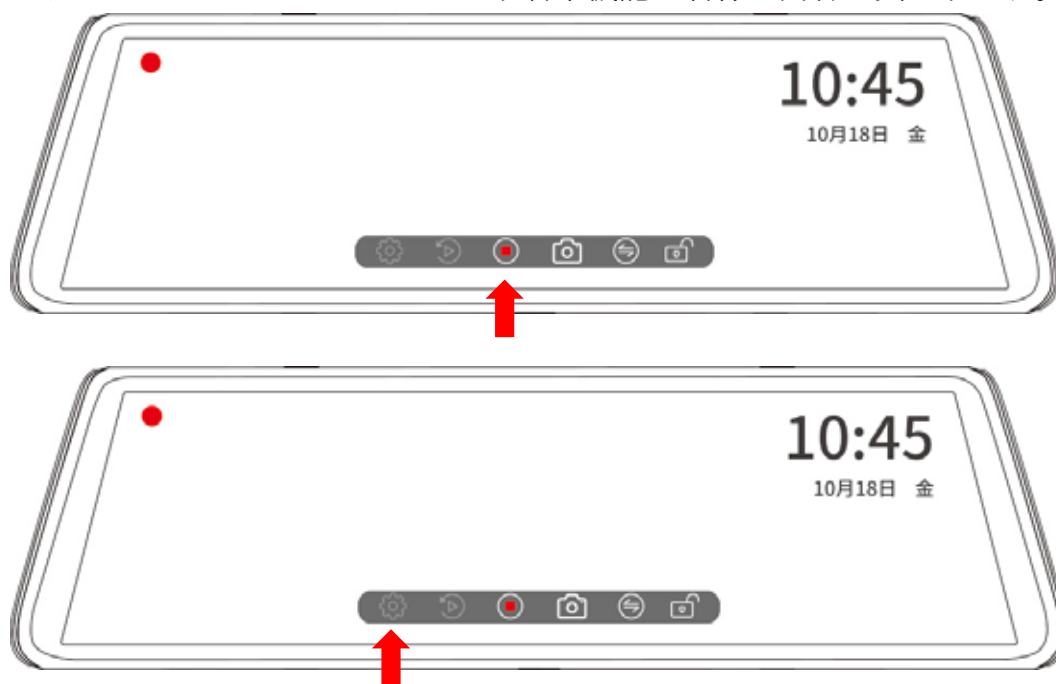
■設定メニュー

※特に設定を行わなくても使用可能です。

通常は自動的に録画が始まっていますので、 ボタンをタッチして録画を停止してから、 ボタンをタッチして設定メニューに入ります。設定メニューは上下スクロールできます。

microSD カードのフォーマットも当設定メニュー内で行なえます。(画面をスクロールさせ[フォーマット]を選択)

各設定項目については Web 上の「サポート情報ページ」(巻頭に URL 記載)で解説しています。ファームウェアのバージョンにより若干機能の名称や内容が異なります。





■その他の機能

駐車ガイドライン表示

バックギアにしたときに、画面にガイドラインを表示します。※当機能の使用には後述の後退灯への配線が必要です。



駐車ガイドライン表示時の上下画角は、通常リア表示時とは別に設定できます。駐車ガイドラインが表示されている時に、上下スライドで任意の位置に設定してください。設定内容は記憶されます。

録画ファイルのロック

録画中、G センサーによって揺れや衝撃を検知すると自動的に録画中の映像ファイルをロックします。ロックされたファイルは自動的に緊急ロックフォルダに保存されます。ロックされたファイルは上書きされません。

状況により適切な衝撃感度レベル（低/中/高/オフ）を選択してください。（[設定メニュー]>[G センサー感度]）

注意：ロックされたファイルの容量が microSD カード総容量の 20%以上に達すると以前のロックファイルは新たな動画で上書きされます。重要なファイルは定期的にパソコンに保存してください。

録画面面の🔒 ボタンタッチでも、録画中の映像ファイルをロックできます。

ロックすると緊急ロックボタンは黄色になり、画面の左上隅に黄色の点●で点滅します。



画像/動画の再生

録画を停止した後、ホーム画面で▶ボタンをタッチして、本機モニタで動画/画像を再生できます。再生画面左下の車のアイコンをタップすると、順に前中後それぞれのカメラ映像一覧に切り替わります。

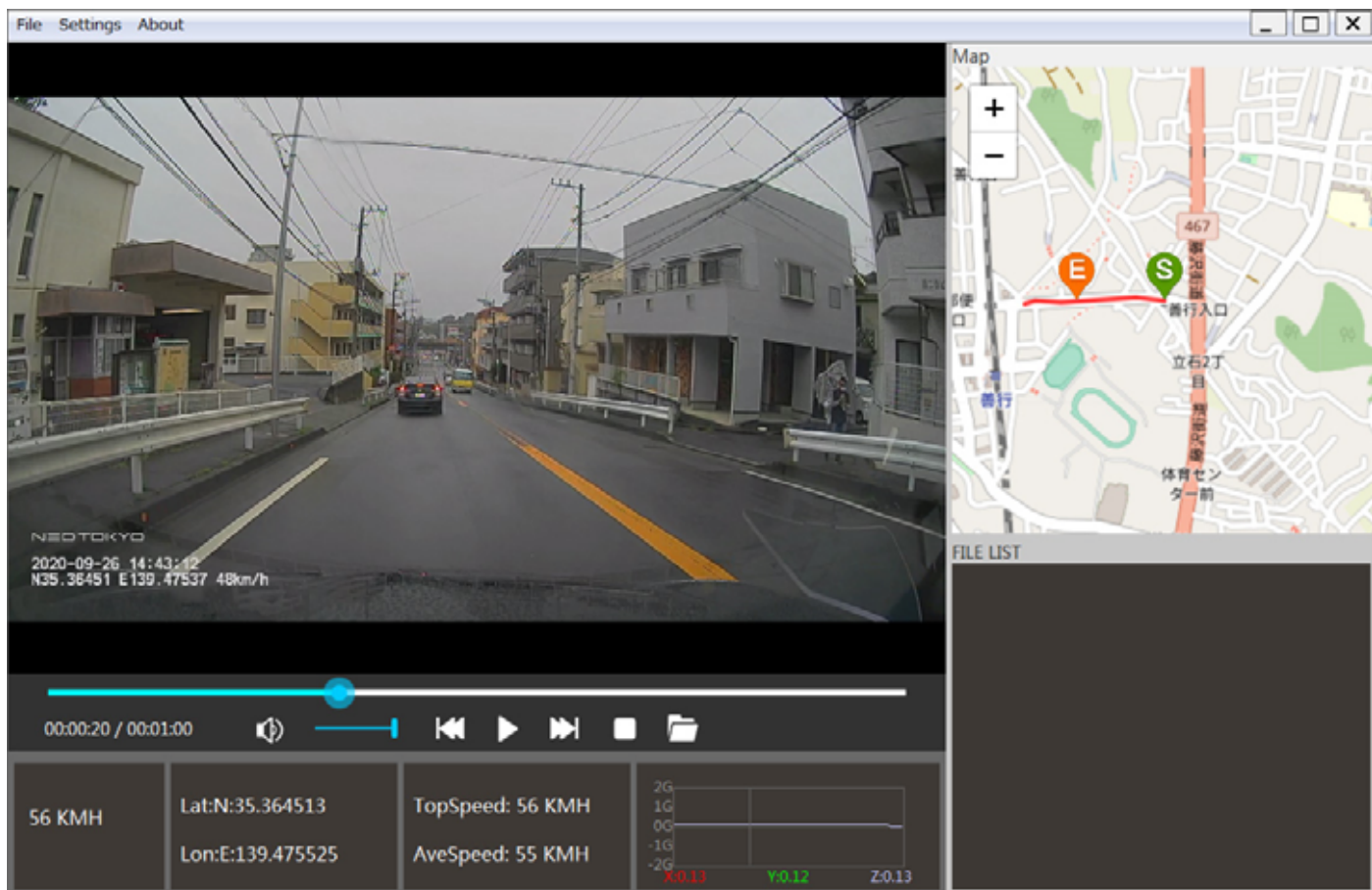
ご注意：本機モニタの形状上、全画面表示時は横長につぶれた状態で再生されますが、パソコン上では正しい縦横比で表示されます。



□ 通常動画 □ 緊急ロック動画 □ 画像 □ 前中後カメラ切替

GPS プレーヤの使用

GPS 受信機を設置した状態で録画すると、動画内に自動的に緯度経度と速度の情報が記録されます。さらにパソコン上で専用 GPS プレーヤソフトで再生することで、マップ上に実際の走行経路を表示できます。



GPS プレーヤーは Windows 用と Mac 用があります。

当マニュアル巻頭のサポートページ URL からダウンロードしインストールしてください。

・ファイルの削除/ロック

削除/ロックが必要な動画ファイルをタッチし、次の画面で削除またはロックを行います。

 をタッチして動画を削除します。 でロックを行います。



タイムラプス常時監視

設定で「タイムラプススイッチ」を「12 時間」または「24 時間」にすると、エンジンオフ（ACC 電源オフ）時に「まもなくタイムラプスモードに入ります」とメッセージが出てタイムラプス常時監視モードに移行します。

タイムラプス常時監視時は1秒あたり1コマの録画となるため、通常より録画データを大幅に少なくでき、最長24時間の録画が可能になります。

ご注意：

- タイムラプス常時監視モード時は、スクリーンは通常は点灯しませんが、本体下ボタン短押しでスクリーンが表示され録画中であることが確認できます。※確認後は必ずボタンを再度短押ししてスクリーンを消灯させてください
- タイムラプス常時監視は車両のバッテリーを使用しています。トラブル予防のため使用前後にはバッテリー電圧をよくご確認頂き、使用後は必ずエンジンをかけてバッテリーを充電してください。長期に車を使わない場合はタイムラプス常時監視を使用しないでください。

■リアカメラと電源ケーブル設置例

リアカメラと電源ケーブルの設置は以下を参考にしてください。

ご注意：

車種により状況が異なります。個別の設置作業は当社ではサポートできませんので、作業に自信がない場合は、専門の設置業者に作業を依頼してください（下記 URL で最寄りの設置業者が探せます）。

https://neotokyo.store/pages/find_installer

ご自身で設置を行う場合は下記 URL も参照してください。

https://neotokyo.store/pages/diy_install

設置時はショートしないように、必ず車の電源を切ってから行ってください。配線には必ず検電テスターを使用し、極性に間違いがないことを確認してください。間違った配線を行うと、車両や当製品の故障を招くおそれがあります。作業間違いによる故障は保証の対象外です。

▼ステップ1：両面テープでリアカメラを固定

適切な場所を見つけて、リアカメラ付属の両面テープでリアカメラを固定してください。カメラの角度を調整したい場合は、リアカメラブラケットをリアカメラに取り付けて、ネジで固定してください。リアカメラは防水仕様のため車内/車外のどちらでも設置可能です。



ブラケット使用例（左：車内用、右：車外用）



▼ステップ2：パネルを外す

トランクを開け、リアハッチの内装パネルを外してください。（内張り外しまたはプラスチック製の硬いヘラ等を使用し、車体にキズをつけないよう注意して作業してください）



▼ステップ3：配線の引き込み

外側のパネルのネジをゆるめ、内張り外しでパネルを外し、配線を車内に引き込みます。



▼ステップ4：リアカメラ用延長ケーブル接続

リアカメラ用延長ケーブルをリアカメラのコードに接続してください。



▼ステップ5：赤線を後退灯に接続

※駐車ガイドライン表示が必要ない場合はこのステップは不要です。

安全のため、事前にエンジンを切ってください。リアカメラケーブルの赤線（+）を後退灯のプラス（+）線（リバーズ時にのみ+が流れるもの）に合流させます。極性をよく確認のうえ行ってください。

またこの配線をした場合、作業完了後に必ずギアをリバーズにした際に駐車ガイドラインが正しく表示されることを確認してください。



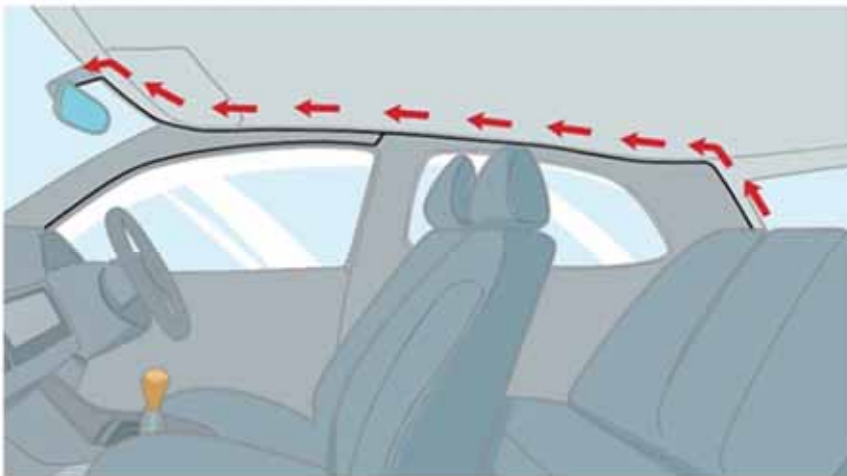
ご注意：

ごくまれに後退灯 12V+極の電流が低く当機能が正常に使えない車両があります。この場合、当製品側での対応は難しいため、赤線の接続を外してお使いください。（赤線を外した場合、駐車ガイドラインは表示されませんがその他の機能は正常に使えます）



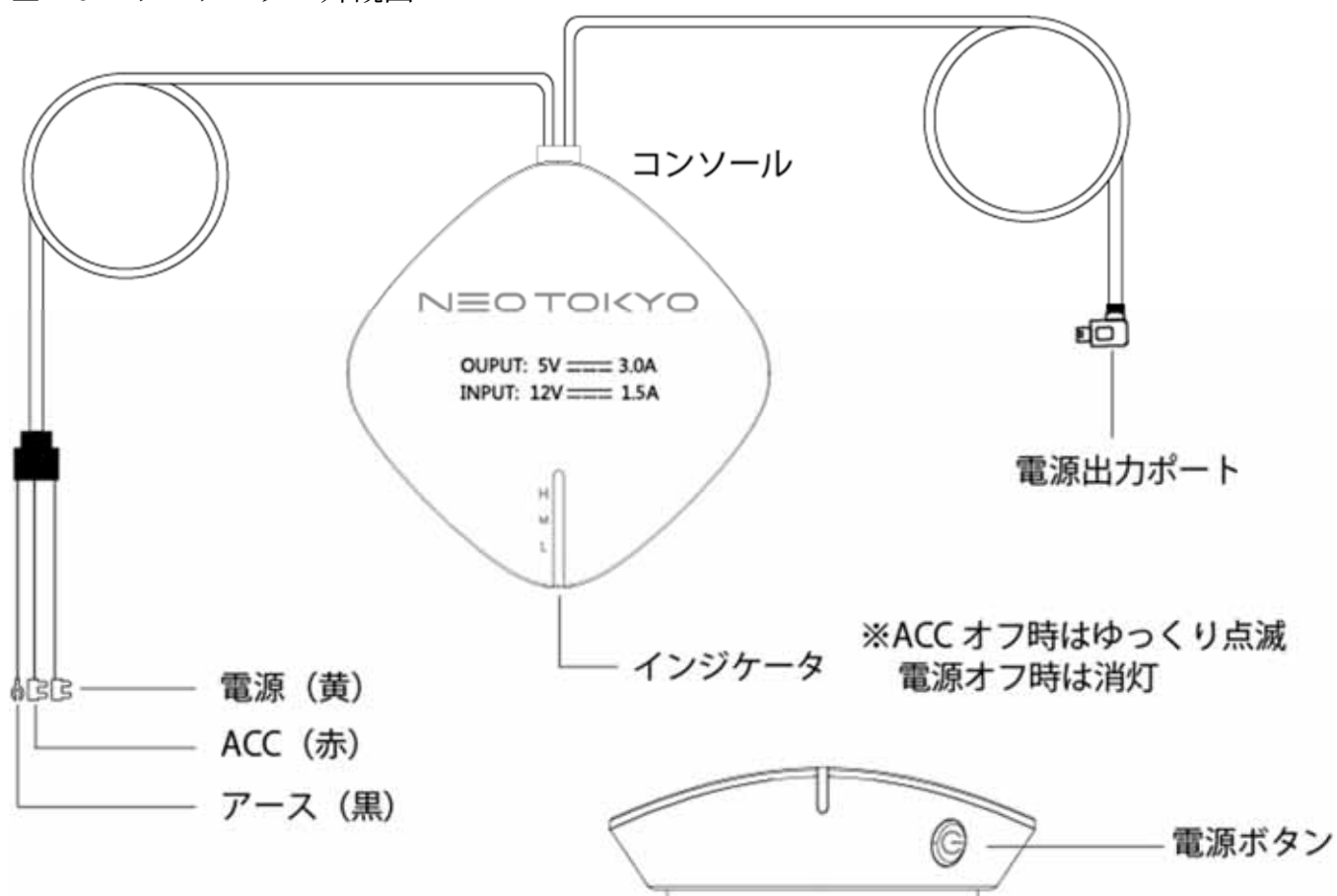
▼ステップ6：リアカメラ配線の取り回し

内張り内部に配線を隠しながら、前方までリアカメラの線を取り回します。



▼ステップ7：電源ケーブルの接続

■Pro パワーケーブル外観図



黄、赤のケーブルを下記ヒューズに、黒ケーブルをアースに接続してください。



黄：B+（12V プラス極
常時電源）



赤：ACC（12V プラス極
ACC 電源）

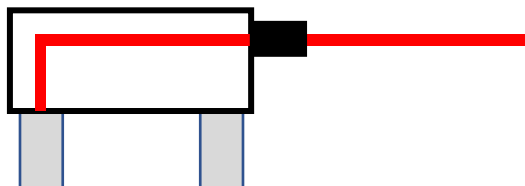


黒：アース（12V マイナス極）



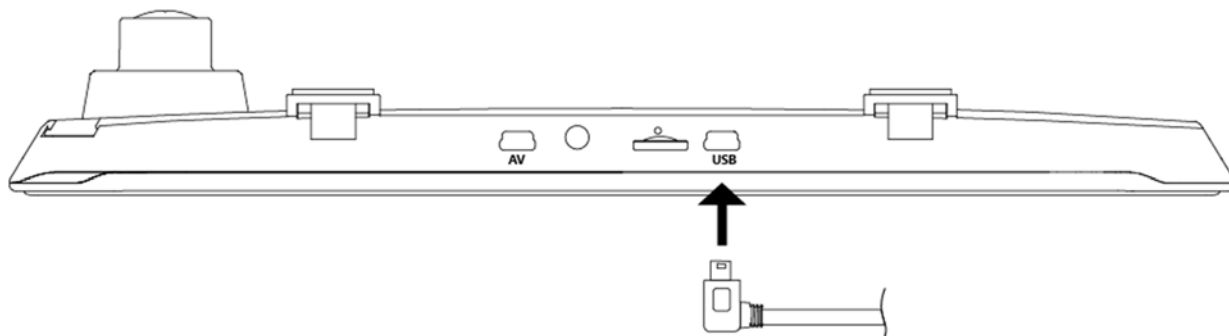
ご注意：

- 対応するヒューズ箇所およびアース部位は車種により異なりますので、詳しくは各車両のヒューズボックス図をご確認のうえ、必ず検電テスターでご確認ください。
- 標準添付されているヒューズは 15A ミニ平型です。接続する元のヒューズと形状やアンペア数が異なる場合は、適切なヒューズ電源ケーブルに付け替えが必要です。
- ヒューズ付け替えは、ヒューズのついているケーブル先を切って適切なヒューズ電源ケーブルにギボシ端子等で付け替えます。（ヒューズ付け替えは作業が適切に行われていれば、そのためにケーブルを切っている初期不良保証範囲とさせて頂いております。ご安心ください）
- 標準添付のヒューズ内の線は、下図のようにヒューズの先側に結線されています。



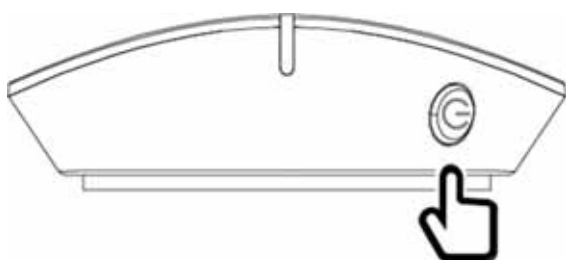
- 接続先のヒューズは 20A 以下で選定してください。ラジオやヒーター用等、万一トラブルがあった場合にも走行に支障が出ないものを選択してください。（ECU（車載コンピュータ）関連ヒューズは危険なので避けてください）
- ミニ平型は低背ヒューズソケットにも通常そのままさります。特にぐらつきもなく、ヒューズボックスのフタがきちんと閉まるようでしたらそのまま使用しても特に問題はありません。
- ヒューズは頻繁に抜き差しすることは想定されておりません。抜き差しの際はヒューズを破損しないようにラジオペンチ等で丁寧に行ってください。
- タイムラプス常時監視を使わない場合は、黄線を ACC 電源ソケットにつなぐことで、常時電源を使わず ACC 電源連動にすることもできます。その際は赤線は別な ACC ヒューズに接続するか、黄色線と合流させて同じ ACC ヒューズに接続してください。
- ごくまれなケースですが、イグニッションやエンジンを切ったときに ACC 信号の変化が取得できず、正しく電源 ON/OFF が行えない車両があります。その場合は前項同様に黄 B+線を ACC ソケットに接続し、ACC 連動電源として使用してください。

ヒューズ側の接続ができれば、ミラーカム本体の電源ポートに電源ケーブルを挿し込んでください。



この時点でミラーカムに通電し、ミラーカムがいったん起動します。

その後エンジンを切ってミラーカムの電源がオフ、再度エンジンをかけてミラーカムの電源がオンになることを必ず確認してください。



電源ケーブルのコンソールの電源ボタンを長押しで電源 ON/OFF、短押しで H/M/L の電圧保護ポイントを変更できます。

コンソールは天井やピラー部等、運転のじゃまにならない位置に付属の両面テープで貼り付けてください。

■トラブルシューティング

※トラブルシューティングの最新版はサポート情報ページ（当マニュアル巻頭に URL 記載）にありますので、そちらもご確認ください。

Q. GPS を接続しましたが、日付や時間がずれています。分、秒はあっています

A. 設定の下記をご参照頂き、タイムゾーンを日本時間にあわせてください。

ファームウェア新バージョンの場合：「時間区域設定」で「GMT+9:00」に合わせる

ファームウェア旧バージョンの場合：「タイムゾーンの選択」で「+09:00」に合わせる

Q. 録画が自動的に始まらない、録画が途中で止まってしまう、または起動してしばらくの間タッチ操作を受け付けません

A. microSD カードのフォーマット（設定の「フォーマット」）を試してみてください。なおフォーマットは2週間に1度程度行うようにしてください。またパソコン等の別の機器でフォーマットを行

うと読み込みが遅くなる場合がありますので、必ず本製品でフォーマットを行ってください。
※定期的なフォーマットは、当製品に限らずすべての SD カード利用のドラレコ共通で必要なものです。長期間フォーマットをしないでいると、データエラーが起き始め正しく録画ができなくなります

Q. タイムラプス録画が 12 時間/24 時間まで行かずに止まってしまいます

A. 車両のバッテリーの電圧低下で Pro パワーケーブルのバッテリー上がり対策機構が働き、途中で電源が切れている可能性があります。(エンジンをかける前に電源ケーブルの LED が消灯していたら保護機構で電源が切れています)

タイムラプス録画はそれなりに電力を必要とし、また駐車時は走行時よりもバッテリー電圧が下がるのが普通ですので、新品のバッテリーでもタイムラプス録画を頻繁に使用しますと保護電圧値を下回るようになることがあります。

その状態でも 24 時間録画したいようでしたら、パワーケーブルの操作コンソールで一番下の L:11.8V に保護電圧値を下げてみてください。ただし保護機構が働いているということはバッテリー充電量自体が減っているということです。あまり無理をせず、タイムラプス使用後は必ずエンジンをかけて十分に充電をされることをおすすめいたします。

Q. 電源が入りません

A. 電源ケーブルのインジケータが点灯していることを確認してください。また電源ケーブルの操作コンソール横に電源ボタンがありますので、念のためそれも何度か押してみてください。またリアカメラケーブルと電源ケーブルをさし間違えていないかもご確認ください。

Q. エンジンを切ってもミラーカム Pro の電源が切れません

A. Pro パワーケーブル赤線 (ACC) 接続先のヒューズが実際に ACC オフと連動して電源オフとなっていることをテスターで確認してください。ACC と記載されていても、特に輸入車等ではヒューズによってはエンジンオフから数分たたないと電源オフにならない箇所もあります。

Q. リアカメラケーブルを接続すると「後カメラが接続されました 再起動します」「後カメラが外されました 再起動します」を繰り返します

A. GPS の接続間違いの可能性があります。GPS ケーブルは二股ケーブルを介して「電源ケーブル」と合流させる必要があるのですが、これを「リアカメラケーブル」と合流させてしまうとこのようになります。

Q. 映像が緑青っぽいです

A. カメラレンズの保護フィルムをはがしてご利用ください。

Q. エンジンをかけても電源が入らない場合があります。手で電源 ON にすると NEOTOKYO ロゴが出て起動します

A. 車両のドア開閉の衝撃により駐車監視録画が自動起動している可能性があります。駐車監視録画は起動～録画～自動シャットダウンまで一連の動作として行いますので、その過程でエンジン ON（＝電源 ON）になるとそのような状況になります。設定メニューで駐車監視をオフか低にしてみてください。なお駐車監視起動時はスクリーンはつきませんがピンと音がします。駐車監視は内蔵電源で行っていますので、ミラーカム本体をケーブル等すべて取り外したうえで手で持って揺る等して頂ければ、各感度でどの程度の揺れで反応するかが把握できます。

Q. しばらくすると画面が消えてしまいます。本体下ボタンを押すと点灯します

A. 設定の「スクリーンセーバー」（新ファームウェア）または「画面自動オフ」（旧ファームウェア）がオンになっていませんか？オンになっていると設定時間経過後に自動的にスクリーン表示がオフになります。（録画は継続しています）

Q. 後退時にガイドライン表示と通常カメラ表示がパカパカと交互に表示されます

A. リアカメラケーブル赤線の結線を再度よくご確認頂き、テスターでリバーシ信号が確実に来ていることをご確認ください。まれに車両の状況により後退灯部の電圧または電流が低い、または間欠的にしか電流が流れないことにより当現象が起きる場合があります、その場合は製品側では対応できません※ので、リアカメラケーブル赤線を外してご利用ください。製品側に不具合がないかの確認は、リアカメラケーブル赤線をヒューズボックスやシガーソケット等の他の 12V プラス極に接触させることで行うことができます。

※本件は過去の実績でもほぼ 100%、製品不良ではなく車両側の問題によるものとなっております。必ず上記の確認をお願いします。

※どうしても対応させたい場合は、ヒューズボックス等の電流の安定した箇所から電源供給のうえリレースイッチ等でリバーシ信号に連動させる方法があります。難しい処置のため、信頼のおける設置業者さまにご相談ください。

Q. リアカメラの映像が暗いです。または急に暗くなったり明るくなったり色が青く変わったりします

A. リアカメラを車内に設置し、さらにガラスが濃い目のスモークや色付きだとそのようになる場合があります。一度リアカメラを外し、手で持って車内の場合と車外の場合で状況が変わるかどうか、あるいはテスト的にフロントガラス側に設置してフロントカメラの画質と比較してご確認ください。また、リアカメラをガラスのすぐ近くまで近づけて設置すると改善される場合もあります（ガラスから離れていると、車内の他の箇所の明るさ暗さも影響してしまうためです）。

それ以外のトラブルの場合、次の 3 点をお試しください。

- 設定の「工場出荷設定値」で設定を初期化、テスト的に初期値のままで運用
- リセット（本体上部の「R」のマークが書かれた穴をピン等で突いてください）
- microSD カードのフォーマット（設定の「フォーマット」）

上記確認後も改善されない場合は、巻末のサポート宛にお問い合わせください。

■諸元

型番：MRC-PRO1/G

本体サイズ：横 275mm（最長部）/240mm（最短部）x 高 80mm、左右フック間 110mm、重量 331g

フロントカメラ：AHD 1080P 27.5FPS 200 万画素、視野角：D=124 ° /H=102 ° /V=53 °、SONY IMX307 センサー

室内カメラ：TVI 1080P 27.5FPS 200 万画素、視野角：D=153.08 ° / H=126.38 ° / V=66.3 °、赤外線対応

リアカメラ：TVI 1080P 27.5FPS 200 万画素、視野角：D=140 ° / H=112 ° / V=60 °、SONY IMX307 センサー、IP67 防水

リアカメラ延長ケーブルプラグ：ミニ USB

動画解像度：2 チャンネル時 1080P@27.5fps +1080P@27.5fps、3 チャンネル時：後 1080P@27.5fps +中 720P@27.5fps +前 1080P@27.5fps

ディスプレイ：9.88 インチ IPS 1600x400 ドット

動作温度：-25℃～65℃

電源ケーブル（Pro パワーケーブル）：入力 12V/1.5A/ミニ平型ヒューズ、出力 5V/3.0A/ミニ USB プラグ ※通常 USB 規格より出力が高いため当製品以外の目的には使用しないでください

内蔵電源：スーパーキャパシタ

その他機能：HDR/WDR 搭載、ループ録画機能、音声同時録音、衝撃検知ファイル保護機構

※一部のデザイン、仕様につきましては、製品改善のため予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

■初期不良保証期間

製品本体：発送日から 1 年

ゴムバンド、ケーブル、ブラケット、microSD カード：発送日から 3 ヶ月

反射防止シートは初期不良以外の保証対象外

保証書

- 保証期間中に製品が故障した場合、無償交換/修理もしくはそれに相当する弊社規定の対応を致します。
- 保証期間は下記当社 Web サイトの製品ページをご確認ください。
- 製品の初期不良や故障の場合は、下記のお問い合わせフォームからご連絡ください。
- 製品保証を受けるにあたっては本保証書、および販売店でのお買上げ時のレシートや注文完了メール等ご購入日が証明できる書類のコピー等を添付頂く必要があります。大切に保管ください。
- 保証は新品購入の場合のみです。ネオトーキョー株式会社(NEOTOKYO STORE)および正規販売店以外からの購入（オークションやフリマアプリ等含む）は中古扱いとなり、保証対象になりません。また第三者に譲渡した時点で期間内であっても保証は終了となります。
- 使用上問題のない程度の本体のキズやスレ、設置関連費用は保証対象外となります。
- 改造やマニュアル記載以外のご利用法による動作不良は保証の対象外となります。

ネオトーキョー株式会社
NEOTOKYO STORE

製品不具合時のお問い合わせフォーム：

<https://neotokyo.store/pages/contact>

